



# 隼人族の森を渡る風

上床 利秋

<https://douzou.jp/>

連載エッセイ 第112回

## 栗山賀行彫刻展(於 鋸山美術館)を旅して

千葉県房総半島の南に、市民の寄付で建設され運営されているという鋸山(のこぎりやま)美術館。そこで才能豊かな彫刻家の一人、栗山賀行(くわやまがこう)氏の個展がいま開催されていると知り、刺激を求めて観に行つた。

展示会場は光線を少なめにし、木彫作品の「鑿の跡」までよくわかるように工夫されていた。それが栗山氏の作品の魅力を一層引き立てているように思えた。氏の作品の「彫刻」に対する具象表現のこだわりは私の追い求める美にどこか近いものを感じている。それ故に、同じテーマで木彫作品として発表するのは氏の影響を強く受けすぎて、自分がなくなりそうに感じた。恐れ多くも私などがその手法ではとてもやるべきではない。そう思わせるほどに氏の作品は素晴らしかった。

美術館の方々にも、とても親切にいただいた。鹿児島からはちよつと遠い場所にある美術館だが、来館して本当に良かったと思うことだった。

午後からはロープウェイで鋸山に登り、日本一巨大な石彫大仏を見学、途中で千五百羅漢像の一部を観ながら石段を降りていった。かねて錦江湾を垂水フェリーで渡るように、今回は東京湾を、フェリーに乗船して遠足気分を味わった。その後、電車に乗り換えて、羽田空港から飛行機で帰路についた。初めての豊富なコースメニューを一日で周遊できたので一般の方にもお得に楽しめるコースを見つけた旅になった。

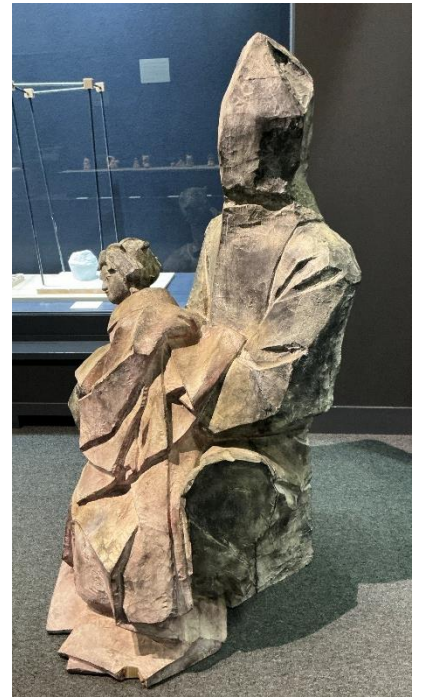
2026年4月



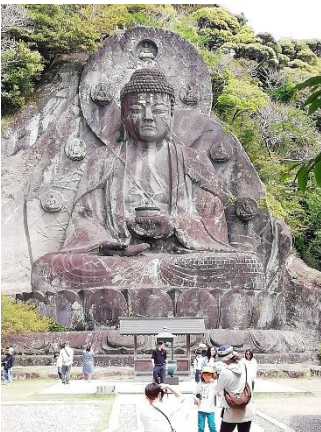
鋸山美術館理事の鈴木由里子氏に解説していただいた。金谷美術館として2010年に開館し、2019年より鋸山美術館に改称、現在に至る。



「チョウチンアンコウ」  
木彫 / 栗山賀行



「拍手を聴きながら」/木彫 栗山賀行



総高31mの石仏は 日本一



鋸山は歩いて登るコースもあるが、石段は急勾配も多いのでロープウェイを利用する人も多い。



筆者と制作中の栗山賀行氏

帰りは房総半島を後ろに眺めながらフェリーで横須賀に渡り、羽田空港へ

